

英国金融政策（2024年3月）

利上げ票は消失も、利下げにはまだ慎重姿勢

2024年3月22日

5会合連続で政策金利を据え置き、インフレ率は低下基調

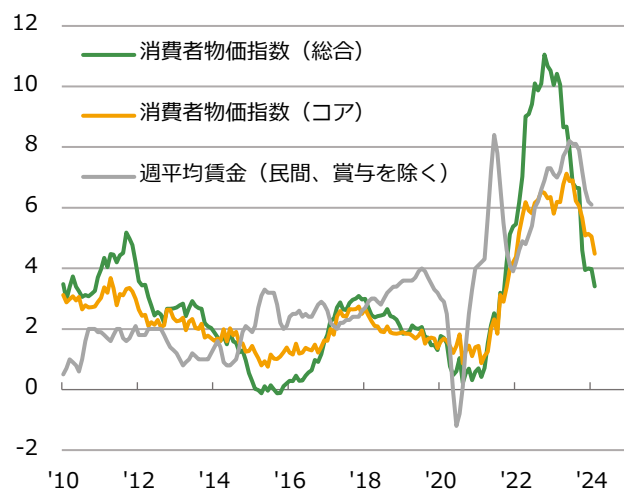
BOE（イングランド銀行）は3月20日（現地、以下同様）に終了した金融政策委員会で、市場予想通り5会合連続で政策金利を5.25%に据え置く決定をし、21日に発表しました。総裁を含む8名が据え置き、1名が0.25%ポイントの利下げを支持しました。前回0.25%ポイントの利上げを支持していた2名も据え置きに廻ったことに象徴される、利下げ方向への若干のシフトを好感してか、債券利回りは金融政策の結果発表直後に低下しましたが、その後、米国債券に連れて前日の水準近くまで上昇しました。ポンドは対米ドルで下落し、英国株は上昇しましたが、BOEの金融政策以外の影響も大きいと思われます。

声明文では「政策金利を現水準にどのくらい長く据え置くべきか検討し続ける」との表現が踏襲されました。金融引き締めが経済活動の重しとなり、労働需給を緩和し、インフレ圧力を抑制しているとBOEは判断しています。実際、昨年後半には2四半期連続のマイナス成長、いわゆる景気後退に陥りましたし、消費者物価指数は直近の2月に総合で前年同月比3.4%、コアで4.5%まで伸びが鈍化しています。一方で、サービス価格は6.1%と高止まったままで、BOEは「徐々に伸びが鈍化する」との見通しを示してはいますが、労働市場の基調的な強さや賃金の動向と合わせて、注視を要するとの慎重姿勢を崩していません。

市場は米国、ユーロ圏と同様に英国についても6月の利下げ開始を織り込んでいますが、英国の相対的なインフレ率の高さに鑑み、当社は8月の利下げ開始を引き続き予想しています。

英国の消費者物価指数と週平均賃金

(前年同月比、%) (2010年1月～2024年2月)



※コアは食品・エネルギー・アルコール・タバコを除く系列

※週平均賃金は3カ月移動平均で2024年1月まで

(出所) LSEG

英国の金利と為替

(%) (2020年1月初～2024年3月21日)(米ドル/ポンド)



※政策金利は発表日ベース

(出所) ブルームバーク

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management